

6月9日、安芸高田市甲田町ミュージアムにて北部研修が開かれました。会員・非会員合わせて12名の参加でした。

午前中は仲川理事長による広通研の紹介、続いて平田さんの進行で自己紹介を兼ねてそれぞれの名前の由来を発表しました。

なごやかな雰囲気になったところで2つのチームに分かれて県名あてゲーム。1つの県について2つのヒントをだし相手チームが県名を当てるというゲームです。わかりにくいヒントをだすのがカギですが、手話で表すのはなかなか難しかったです。

午後からは小山さんによる講義や手話実技です。研修誌の中から「欠格条項」や「障害者差別解消法」のことなどわかり易く話していただきました。



実技では「豆腐汁作り」(研究誌123号～映像を伝えることば～)を題材に実際の身振りを忠実に再現。その身振りに「豆腐」とか「冷蔵庫」などの手話単語を付け加えることによりわかりやすい表現になるということを体験しました。またろう者の手話の読み取りについても、いくつかのポイントを説明してもらい今後の学習に生かしていきたいと思いました。

北部研修は年1回、1年ぶりに会う人、何年かぶりに会えた人、新人さん、メンバーはなかなか増えませんが細々と地元で勉強会を続けています。また来年も開催できますように。